

JGA 研修「フランク・ロイド・ライトの明日館見学・交流会」

2021年11月2日（火）JGA 第一支部研修交流会 終了報告 第一支部運営委員会

2021年11月2日、第一支部研修交流会「フランク・ロイド・ライトの明日館見学・交流会」を実施いたしました。24名（正会員21名、非会員1名、委員2名）の参加者で、**近代建築の三大巨匠**のひとりと言われる、**フランク・ロイド・ライト**が設計した建物で、日本にある数少ない建築の一つである明日館の建築を味わい、ガイド同士が顔を合わせて、和やかなひと時を過ごしました。



当日は12時30分に池袋駅メトロポリタン口に集合。久しぶりの集合研修で再会を喜ぶ笑顔が溢れました。新型コロナの事情により、建物内のガイドができない事、その代わり講堂でご説明が聞ける旨の説明の後、出発。

最初に到着したのは、「婦人之友社」。こちらは、ロイドと共に明日館の建築に関わった遠藤新の息子 **遠藤楽**の設計によります。ライトの特徴を受け継いでいる点、玄関の「大谷石」、「軒のせり出し」

「水平ライン」「窓枠のY字」「洗面所の窓枠と硝子」の意匠など見どころを説明。少人数ずつ一部見学させていただきました。

そこを右折するとすぐに「自由学園明日館」です。1921年（大正10年）に羽仁もと子、吉一夫妻が創立した自由学園の校舎として、**遠藤新**の紹介で**フランク・ロイド・ライト**が設計。

13時に入館。見どころ説明のあと自由見学。

中央棟のホールと食堂が2階の高さであるほかは、各教室は平屋建てで「**左右対称**」に連なり、その屋根は低く、「**プレーリーハウス（草原型）**」というスタイル。

「軒を深く出す」ことで「**水平ライン**」を強調。家の中と外をつなぎ、「**自然と一体化させる設計**」。

「教室の床、廊下の石畳、芝生の庭が同一レベル」。

「**幾何学デザイン**」。大変美しい建築です。

14時には遠藤新設計の**講堂**に再集合。明日館の職員の方より、スライドを見ながら学園の歴史や、

建物の特徴など お心のこもったご説明をお聞きすることができました。建物は、活用してこそ生かされると、1997年に国の**重要文化財に指定**された後に大規模保存修理工事を行い、「**動態保存**」とし、現在は結婚式や講座の教室として活用されているそうです。

見学は「**お茶券付き**」です。中央棟の格調高い雰囲気のある食堂で、コーヒーとお茶菓子をいただきながら、ガイドの仕事の再開に向けて、それぞれが希望をもち学びを続けていることを確認しあいました。短い時間でしたが、皆様と共に集う喜びを感じることができました。

ご参加の皆様、有難うございました。

